

●地域経済レポート特集号 REGIONAL ECONOMIC REPORT

マルシェノルド

第28号



震災復興と地域

2011年3月11日、国内観測史上最大規模のマグニチュード9.0という巨大地震により戦後最大の人的被害が出た未曾有の大災害、東日本大震災が発生しました。被害は大津波と原子力発電所事故による二次災害にも広がり、この大震災をどのように受け止め、いかに日本の国土を復興していくのか、日本人の英知と力が問われています。そこでは大災害の教訓を生かした地域づくり、都市づくり、ひいては国土づくりが求められています。また、大都市集中型の国土構造のもろさをどのように是正していくのかも大きな課題といえます。震災復興の中で、北海道をはじめ、地域がどのように向き合っていけばいいのかを考えていきます。

Contents 目次

インタビュー

**強靱な国土づくり、
地域づくりを考える** 1

京都大学大学院工学研究科都市社会工学専攻教授・
同大学レジリエンス研究ユニット長 藤井 聡氏

寄稿

国土の復興、創生と北海道 11
～日本の再構築に向けて、北海道の役割を考える～
釧路公立大学学長・地域経済研究センター長 小磯修二

トピック

強靱な国づくりと北海道の貢献 19
～「北海道バックアップ拠点構想(案)」の概要～
北海道総合政策部計画推進局

地域事例 ①

漁業復興を支えた漁師まちと漁師の心意気 22
～函館市内漁業協同組合長連絡協議会と函館市による久慈市漁業協同組合への義援船提供～

地域事例 ②

地域の特徴を生かした北海道らしい復興支援 27
～日高町による南相馬市の被災馬受け入れ～

行政情報

北海道フード・コンプレックス国際戦略総合特区 31
北海道フード・コンプレックス国際戦略総合特別区域協議会事務局

information 告知板

土木技術者のための講習会開催のご案内 (CPDS対象) 37
平成24年度地域活性化活動助成募集のご案内 38

開発DIARY 39

表紙の切り絵作家

三苦 麻由子 *Mayuko Mitoma*

東京都出身。武蔵野美術短大卒業後、広告代理店勤務などを経てフリーに。1994年札幌へ。みとままゆこのペンネームで、水彩、ペン、墨絵、切り絵など、さまざまなタッチでジャンルにこだわらず活躍中。本誌の表紙は、本号テーマ・イメージによるオリジナル作品。